

## 米国シンクタンク研究者招聘プログラム

2026年3月2日～6日

参加者：ジェフリー・ホーナン ランド研究所 国家安全保障研究部日本担当、上級政治学者  
パトリシア・キム ブルッキングス研究所アジア政策研究センター、  
ジョン・L・ソントン中国センター 外交政策フェロー  
ジェフリー・ガーツ 新アメリカ安全保障センター（CNAS）  
エネルギー、経済・安全保障プログラム 上級研究員



シンポジウムの模様

経済広報センター（筒井義信会長）は3月2～6日の5日間、「米国シンクタンク研究者招聘プログラム」を実施した。このプログラムは1999年に開始され、企業訪問や有識者らとの意見交換等を通じて、日米の相互理解の増進を図ることを目的としている。

国際情勢は、大国間の対立や地域紛争等で複雑化し、不透明感を増している。この状況を踏まえ、2025年度は「日米同盟の現状と展望～経済安全保障、関税・投資、技術革新の視点から」をテーマに、ランド研究所のジェフリー・ホーナン上級政治学者、ブルッキングス研究所のパトリシア・キム フェロー、新米国家安全保障センター（CNAS）のジェフリー・ガーツ上級研究員の3人が参加した。

### ■企業、官公庁、政治家、有識者等を訪問

シンクタンク研究者らは、日本の企業、官公庁、政治家、有識者等と、政治・経済、産業、防衛、安全保障、外交等の最新動向や、日米同盟の現状と展望等を巡り議論した。

自動車、防衛、半導体、通信の主要企業からは、各社の事業概要に加え、米国ビジネスの戦略、国際情勢や米国の通商政策が及ぼす影響、サプライチェーンの確保等の説明を受けた。

外務省、経済産業省、防衛省では、日本の経済安全保障や防衛・エネルギー政策、米中の通商政策等の説明を聴くとともに、日米同盟の重要性について認識を深めた。

国会議員とは、日米関係、日本の政治情勢、日本の経済・社会が直面する課題等について意見交換を行った。

大学や研究機関の専門家からは、経済安全保障、日米中それぞれの二国間関係、日本の経済・金融政策

等の説明を聴いた。

### ■シンポジウムを開催

最終日の6日には東京・大手町の経団連会館でシンポジウムを開催した。

シンクタンク研究者らは、このプログラムで獲得した知見や経験に基づき、自身の専門分野に関する見解を発表した。日本の防衛力強化と経済安全保障、日米中関係、中国の外交政策等について、多角的な視座に立った考えを示した。

その後、上智大学総合グローバル学部の前嶋和弘教授をモデレーターにパネル討議を実施した。

前嶋氏は、3月19日に開催予定の日米首脳会談の課題と期待、日中関係改善の方向性、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（CPTPP）の拡大、米国の中間選挙後の日米同盟の展望等について問題提起した。シンクタンク研究者や会場出席者を交え、活発な議論が展開された。

以 上

---

一般財団法人

## 経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。